

はしがみ 議会だより

No.60

2月号 (February)

暮らし人
地域を豊かに



～中学生模擬議会～

道仏中学生13名による中学生模擬議会が開会。
議長や議員を体験。自ら考えた質問を議員に問いました。

- 【12月定例会】 赤保内小学校改修工事費に1,259万円計上
- 【ここが聞きたい】 議員4名が一般質問
- 【中学生模擬議会】 道仏中学生13名が議会初開催

三陸復興国立公園
みちのく潮風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

第6回 12月定例会

令和6年第6回定例会を12月3日開会し、12月6日閉会しました。
今回の議会では、条例の制定1件、条例の一部改正7件、補正予算3件など議案16件をいずれも原案のとおり可決、承認しました。他に議会案3件を可決。一般質問は、4人の議員が行いました。

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果	関連ページ
議案第1号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和6年度階上町一般会計補正予算) ※既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ978万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を62億1,707万7千円としたもの	承認	9ページ
議案第2号	階上町町民栄誉表彰条例の制定について ※町が表彰する町民栄誉賞について、必要事項を定めるもの	原案可決	9ページ
議案第3号	階上町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部を改正する条例の制定について ※デジタル社会形成基本法等*の一部改正に伴い所要の改正を行うもの	原案可決	—
議案第4号	階上町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について ※デジタル社会形成基本法等*の一部改正に伴い所要の改正を行うもの	原案可決	—
議案第5号	階上町特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例の制定について ※町長、副町長及び教育長の期末手当の支給割合を改めるもの	原案可決	9~10 ページ
議案第6号	階上町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について ※青森県人事委員会勧告に準じ、職員の給料月額並びに寒冷地手当、期末手当及び勤勉手当の額等を改めるもの	原案可決	—
議案第7号	階上町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について ※会計年度任用職員の給料月額を改めるもの	原案可決	—
議案第8号	階上町税条例の一部を改正する条例の制定について ※デジタル社会形成基本法等*の一部改正に伴い所要の改正を行うもの	原案可決	—
議案第9号	階上町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について ※任期付き消防団員の定年の見直しに伴い、所要の改正を行うもの	原案可決	—
議案第10号	令和6年度階上町一般会計補正予算(第3号) ※既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ1億7,395万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を63億9,103万円とするもの	原案可決	9~10 ページ
議案第11号	令和6年度階上町介護保険特別会計補正予算(第2号) ※既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ62万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を14億4,639万2千円とするもの	原案可決	—

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果	関連ページ
議案第12号	令和6年度階上町下水道事業会計補正予算(第3号) ※既定の収益的収支予算における収入について130万8千円を増額し、累計予定額を3億7,293万3千円とし、支出について169万7千円を増額し、累計予定額を2億9,601万1千円とし、既定の資本的収支予算における収入について140万円を増額し、累計予定額を2億6,043万6千円とし、支出について33万6千円を増額し、累計予定額を2億7,815万4千円に補正するもの	原案可決	—
議案第13号	階上町農村活性化センターに係る指定管理者の指定について ※階上町農村活性化センターの指定管理者を指定するもの	原案可決	10ページ
議案第14号	金山沢水郷館に係る指定管理者の指定について ※金山沢水郷館の施設のうち、地区集会施設の指定管理者を指定するもの	原案可決	10ページ
議案第15号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について ※構成団体の減少により規約を変更するもの	原案可決	—
議案第16号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について ※構成団体の減少により規約を変更するもの	原案可決	—
議会案第1号	階上町議会議員の期末手当支給条例の一部を改正する条例の制定について ※階上町議会議員の期末手当の支給割合を改めるもの	原案可決	10ページ
議会案第2号	階上町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について ※条文を整理するもの	原案可決	—
議会案第3号	階上町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について ※デジタル社会形成基本法等*の一部改正に伴い所要の改正を行うもの	原案可決	—

▽専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(6年度一般会計補正予算)

【歳出の主なもの】

10月15日公示、10月27日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る対応分として978万3千円を追加。

▽6年度一般会計補正予算(第3号)

【歳出の主なもの】

青森県人事委員会勧告に準じた給与改訂に係る人件費の増額、自立支援事業及び障害児施設措置費事業における報酬改定等として3440万2千円、除雪作業委託料として6千万円、赤保内小学校改修工事費として1258万4千円等を追加。

【債務負担行為補正】

小規模事業者が、日本政策金融公庫から借入れた際に生じた利子を町が補給するものについて変更。

▽6年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

【歳出の主なもの】

地域支援事業費81万5千円

を追加。

▽6年度下水道事業会計補正予算(第2号)

【歳出の主なもの】

令和5年度分消費税確定申告による還付額及び納付額確定に伴う補正、給与改正に係る人件費の増額、公営企業会計事務支援業務に係る建設改良債の増額。

デジタル社会形成基本法等*…情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律による情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律

第1回臨時議会

第1回臨時議会が、1月21日に召集され、審議の結果、全会一致で可決しました。

■補正予算

▽6年度一般会計補正予算

(第4号)

【歳出の主なもの】

令和6年度住民税非課税世帯に対し、一世帯当たり3万5千円を給付し、更に、18歳以下の子どもを扶養する当該非課税世帯に対し、子ども一人当たり2万円を加算する低所得世帯支援臨時給付金事業に係る経費6511万4千円、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている全町民に対して、一人当たり1万円の商品券を配布するはしかみ生活応援商品券事業に係る経費1億3449万4千円を追加。

質疑応答

大下 修 議員

◆職員手当等

問 県内各市町村の残業手当が下がっている中で、階上町だけ増えている理由は、

答 総務課長 職員不足、コロナ禍でやってこなかった業務も通常業務に戻りつつあるところのカバー等で増えている。また、12月に今回の事業は計上していないため、今回計上したもの。

◆低所得世帯支援臨時給付金事業

問 子ども給付金は、何世帯分か。非課税世帯1600世帯の分類は。

答 介護福祉課長 105世帯を見込んでいます。非課税世帯の分類は、国の施策に基づき実施しているため行っていないが、給付結果に基づき今後必要に応じて対応していく。

◆はしかみ生活応援商品券事業

問 今までの分析を含めて今回のこのお金の流れは、どのようなものか。

答 産業振興課長 事業ごとに換金された商店ごとの集計をし、次の事業に生かせるよう分析をしている。実績を基に、商工会と連携し意見を聞きながら、今回も検討をして共通券7千円と専用券3千円の配分としたもの。

連携中枢都市圏の形成に関する講演会

1月15日、当町で開催された「連携中枢都市圏の形成に関する講演会」に議員14名が参加。

■講師 総務省 消防庁国民保護・防災部防災課 地域防災室長 福西 竜也 氏

■講演 消防団を中核とした地域防災力の充実強化について



パブリックコメント(意見公募)の結果について

令和6年11月7日(木)から12月6日(金)までの間、「階上町議会基本条例(案)」に関する意見を募集したところ、意見はありませんでした。皆さま方のご協力に深く感謝申し上げますとともに、今後とも議会改革の推進にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

会議録はこちらから読み込みます。



議会会議録QR

一般質問



ここが聞きたい

第6回定例会では4議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■ 土橋 美加佐 議員 5 ページ

- 1 町道の維持管理について
- 2 国スポに向けての道路整備について

■ 渡部 高明 議員 7 ページ

- 1 階上町の企業と雇用の活性化について
- 2 階上町の都市構想について

■ 中島 孝一 議員 6 ページ

- 1 地球温暖化による気象災害について
- 2 人口減少問題・少子化対策について

■ 大下 修 議員 8 ページ

- 1 固定資産税と不動産鑑定について
- 2 公益通報について



土橋 美加佐 議員

町道の維持管理について

〔町長〕 安全性を欠くことがないように、道路管理者として速やかに対応する



問①

近年は異常気象が多く、昨年は雨が少なく高温で農作物へのダメージが多かった年だった。今年は、比較的高温日数が少なかったが、7月30日、田代・晴山沢地区は、14時の降り始めから19時の警報解除までの総雨量、県雨量計で159ミリに達し、時間最大雨量67ミリと、局地的大雨の被害を受けた。幸いにも人的被害がなかったのが良かったといえる。昨年、令和5年7月31日、町道で倒木があり、走行中の車が接触する事故が発生。9月には示談が成立し、町で損害賠償の支払いをしている。そこで、町道における支障木・危険木の対応の仕方・考え方について伺う。

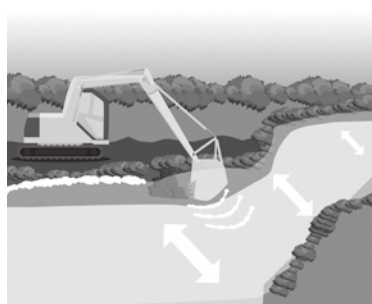
協働のまちづくりを進める中で、近年は高齢化が進み、道路側溝の泥上げができなくなってきたが、町はどのように考えているのか伺う。

答①

町長

道路を管理する上で、通行の支障となる支障木、支障とはなっていないが倒木のリスクが高い樹木は危険木とされ、支障木については、パトロールや、道路利用者情報により管理者として速やかに除去を行っている[※]。大雪や自然災害により、交通障害などの発生リスクを減らすため、広報誌やホームページを通じ、適正管理についてもお願いしているところである。

側溝清掃等で、地区で対応が難しい部分については、各地区の区長より実情を聞き、必要な箇所を町が行っていくといった役割分担により、今後の協働のまちづくりを進めていきたい。



働のまちづくりを進めていきたい。

問②

町道脇の土地の多くは個人が所有している。所有者と連絡が取れない、所有者が高齢もしくは地区に住んでいないなどの場合はどのように対応しているのか伺う。

答②

建設課長

交通障害となっている支障木、事故につながる恐れのある危険木については緊急な状態のため、道路管理者として、安全性を欠くことがないように支障木等の除去を行っている。引き続き適切な道路管理を行いながら、安全安心な道路の整備に努めていきたい。

※民地にある緊急対応度が低い危険木については、所有者に連絡し対応していただき、民地にあるが緊急対応が必要な危険木については、道路管理者において対応している。

国スポに向けての道路整備について

〔町長〕 安全性の確保を図っていききたい

問①

令和8年10月11日、青の煌めきあおもり国スポロード・レース大会に向けて道路整備・メンテナンスをどう考えているのか伺う。東北町のような駅伝の町ではないが、階上町においてもロード・レースの町に向けて取り組んでいただきたい。

答①

町長

町としては、青森県自転車競技連盟よりご意見をいただいた道路と橋梁との段差擦り付けや、路面のクラック補修等を、来年度実施する。リハーサル大会や本大会に向け、安全性の確保を図っていききたい。





中島 孝一 議員

地球温暖化による気象災害について

〔町長〕安全安心住宅リフォーム促進支援事業(省エネ性能向上等)により、CO₂排出削減に取り組んでいる



問① ①町で想定される災害とその対策は。

②温室効果ガスの削減対策、今後検討している施策は。

答① 町長

①災害対策基本法第42条の規定に基づき、町地域防災計画を策定している。想定される災害は、台風、高潮、河川の氾濫、集中豪雨等の災害で、対策として、防災訓練や避難訓練、物資の備蓄や災害ハザードマップの作成などのソフト面と、各種施設の整備などのハード面での対策を図ることとしている。

②既存住宅の省エネ性能向上の改修等に、町安全安心住宅リフォーム促進支援事業の補助金を交付している。一定の性能基準を満たす改修等を対象とし、助成を行うことで、CO₂排出削減につながるものと考えている。また、温暖化対策法に基づき、平成21年に町環境保全率

先行動計画を策定し、温室効果ガス排出量の削減に努めている。今後も支援事業を継続しながら、一人一人ができる行動をとることで、CO₂排出削減に努めていく。

側溝の整備については、苦情や各地区の協働のまちづくり計画、緊急度をもとに、順次整備している。今後も整備が必要な箇所の現地調査を行い、緊急度に

問②

①河川及びため池等について、豪雨災害を想定し調査研究を進めるべきでは。また、側溝が未整備の地域や古い側溝で、能力不足の側溝の改修を進めるべきでは。

②今年度、集会所等にクーラー設備工事を実施したが、未整備の施設が残っている。これらの施設に対する計画は。

答② 建設課長

①実施済みの道仏川の護岸嵩上げ工事や土砂浚渫による河道断面を確保する道仏川、田代川等の浚渫工事は、今年7月の田代・晴山沢地区の局地的大雨において被害がなく、災害の未然防止につながったものと考えている。排水

人口減少問題・少子化対策について

〔町長〕はしかみ移住定住新築応援プロジェクト事業を継続・拡充することで、後押しを行いたい

問①

①町に、八戸市民をターゲットにした住宅地造成計画を検討してみる考えは。

②町に、エンターテイメントモールの誘致を検討してみる考えは。

答① 町長

①町に、八戸市民をターゲットにした住宅地造成計画を検討してみる考えは。年近く要した。現在は、行政による宅地分譲はなく、不動産会社による耳ヶ吠地区の小中学校周辺で新築住宅建築が盛んに行われている。町としては、民間事業者にルールに沿った適切な開発の促進をお願いし、は

より優先順位を整理しつつ、対策や整備を行ってきたい。

答② 総合政策課長

②未整備のわっせ交流

センター、金山沢水郷館、道仏公民館、道仏交流センターについては、早期に整備する方向で考えている。

はしかみ移住定住新築応援プロジェクト事業を継続・拡充することで、後押しを行いたいと考えている。

②多くの自治体で大型ショッピングモールが整備されることを期待していると思うが、企業の情報や判断があり、町は受け身にならざるを得ないと考えている。町に進出する企業があれば、積極的に関与し、お手伝いをしたいと考えている。

①本年4月に全区画を分譲完了した駅前中央団地と、平成12年に全区画を分譲完了した大鶴音団地の実績がある。この2度の造成事業が定住人口増につながったことは評価できるものの、駅前中央団地完了に40





渡部 高明 議員

階上町の企業と雇用の活性化について

〔町長〕 地域経済の活性化と住民の生活基盤を支えるため、企業誘致を重要な施策の一つとして位置付けている



問① 産業の発展なくして、町民の豊かな未来は描けない。そこで、階上町の誘致企業の数と雇用の現状を伺う。そして、町の取組みについて伺う。

答① 町長

地域経済の活性化と住民の生活基盤を支えるため、企業誘致を重要な施策の一つとして位置付けている。現在、町内には9社の誘致企業があり、約500人の雇用を生み出しており、その大部分を地元住民が占めている。町の取組みとしては、県立地支援金の提供に加え、町の企業誘致奨励金を交付することで、企業が進出しやすい環境づくりに取り組んでいる。

問②

9社の誘致企業のうち、県の誘致企業と町の誘致企業の数を伺う。また、過去の県の誘致企業に関して、町がどのように関わったのかを伺う。企業

誘致企業と町の誘致企業の数を伺う。また、過去の県の誘致企業に関して、町がどのように関わったのかを伺う。企業

答② 総合政策課長

県の誘致企業は4社、町の誘致企業は5社となっている。一例として、土地調査や用地造成費の積算、県との調整を行い、事業者からの土地買入申込みや契約手続きの支援を進めた。また、地元雇用の促進を図るため、町として就職希望者名簿を事業者に提供した。企業誘致奨励金の内容は、誘致企業に対し、町税が課される初年度から5年間で限度として、固定資産税に相当する額を交付している。



階上町の都市構想について

〔町長〕 住民の皆様が「この町に住んで良かった」と心から感じられるふるさとづくりを目指していく

問① 来年度以降、第5次総合振興計画後期計画の時期かと思うが、荒谷町長は階上町をどのような町にしていきたいのか、階上町の都市構想について伺う。その中で、町内のインターチェンジ付近への企業団地の構想はいかがか。

答① 町長

私が目指すまちづくりの方向性は、「夢 未来 創造 新しい時代を皆さんと共に」の実現である。そのためには、住環境や教育環境の整備、働きやすい場や子育てしやすい環境の充実を図るとともに、地域資源を最大限に活用し、新たな価値を創出する取組みを推進

答② 総合政策課長

青森県企業誘致推進協議会のホームページへの企業紹介や、県東京事務所を通じたPR活動に加え、県や連携中都市圏が主催するイベントへの参加を通じ、関係機関と連携しながら、企業誘致に積極的に取り組んでいきたい。

する。住民の皆様が「この町に住んで良かった」と心から感じられるふるさとづくりを目指していく。インターチェンジ付近の企業団地構想は、本町の経済活性化の大きな起点となる可能性がある」と認識している。今後は、当該エリアにおける企業誘致が可能となる土地利用計画や環境整備について、調査・研究を継続していく。

問② 企業の進出は、町の発展に欠かせない要素。企業団地構想について、今後の積極的な調査・研究をお願いする。県や自治体との広域連携について、具体的にどのような組織を活用し、どのような形で進めていくのか伺う。

企業が進出は、町の発展に欠かせない要素。企業団地構想について、今後の積極的な調査・研究をお願いする。県や自治体との広域連携について、具体的にどのような組織を活用し、どのような形で進めていくのか伺う。





大下 修 議員

固定資産税と不動産鑑定について

〔町長〕 鑑定する性質や目的の違いを踏まえ適切に活用していくことが重要



問① 「固定資産税標準宅地の適正な時価を求めるための基礎資料」を達成するための鑑定評価額の妥当性は。

① 小学校閉校に伴う不動産鑑定の旧大蛇小学校の土地の価格は1330円/m²。固定資産税の課税標準額は、旧大蛇小学校付近は57500円/m²、課税標準額の4分の1の価格である。土地の価値としてどちらが適切なか。どちらも適切なか。町の見解は。

② 小舟渡集会所の不動産鑑定の項目の中に、登記地目は「田」、現状は「畑」としながら、「畑(宅地見込地)」としている。幹線道路から2m程下がった田が宅地の妥当性は。

答① 町長

① 町が依頼した不動産鑑定士は、「取引事例比較法」を採用。実際の不動産取引事例を基礎として、地域の特性や地価の動向、対象地の個別的な

条件を考慮し、適正な評価額を算出するもので、客観性と信頼性のある評価が可能となる。

② どちらの価格も目的に応じて適正と考える。それぞれの性質や目的の違いを踏まえ適切に活用していくことが重要である。

③ 宅地見込地とは、その土地が将来的に宅地として利用可能である場合に、市場で期待される価値を見込んで評価するものである。農家住宅等として利用が見込まれる土地であると判断され、宅地見込地として鑑定が行われている。



公益通報について

〔町長〕 17年間に通報した件数ゼロ件

問① ①階上町職員等の公益通報

答① 町長

に関する規程は、平成19年に施行。目的は、「公益通報者の保護と町政運営の公正の確保と透明性の向上に資すること

① 通報相談された件数はゼロ件。逸脱した事例もなかったものと確認している。

を目的とする。」とあるが、今まで17年間に通報相談された件数と第1条の目的を逸脱した事例がなかったか。

② 300人以下の事業所については、努力義務とされているが、「階上町職員等の公益通報に関する規程」を整備し、例規集に登載することで周知を図っている。全ての職員が閲覧できる方法により周知を図っている。

② 公益通報制度、通報者の保護・守秘義務等が周知徹底されているか、周知の方法は。

③ 調査担当職員の人数は2名、責任者は町長である。

③ 町長への公益通報の受付、調査を行うため、総務課に調査担当職員を置くことになっているが、責任者と人数は。

④ 県が県民全体の窓口を設置し、平時から町民の意見、相談を受け付けており町としては、特別、公益通報のための通報・相談窓口は設置していない状況である。

④ 監督官庁が推奨している直接、弁護士などに通報する外部通報窓口を設けていない理由は。

④ 県が県民全体の窓口を設置し、平時から町民の意見、相談を受け付けており町としては、特別、公益通報のための通報・相談窓口は設置していない状況である。





質疑あれこれ

第6回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

専決（6年度一般会計補正予算）

大下 修議員

◆投票管理者報酬

問 投票所投票管理者報酬の15万3600円（1万2800円×1人×12か所の投票所）は、職員報酬か。

答 総務課長 投票管理者は、選挙管理委員会が全員職員を選任しているため、職員への支払いとなっている。

条例の制定

大下 修議員

◆階上町民栄誉賞表彰条例

問 町の表彰の位置付けとして、最上位を名誉町民条例、それに次ぐものとして新設するとの説明を受けた。過去のオリンピックのレスリングに笹山さんという道仏中学校出身の方が出場していたが、当時の

表彰はどのような表彰であったのか。

答 総務課長 アトラクタオリンピックに出場した笹山秀雄選手は、昭和62年に町スポーツ賞、平成8年のオリンピックの年には、県褒章の受章と町表彰条例による善行表彰を受賞されている。

問 今回の表彰は、オリンピックに出場した小原さんが、県でも表彰されたが、名誉町民に次ぐ活躍ということで表彰するという理解でよいか。

答 総務課長 小原佑太選手は、先日、県褒章を受章し、今年1月に町表彰条例による功労表彰を行っている。その後、オリンピックに出場し、成績は5位と個人6位。先般10月の世界選手権では、見事3位に入賞された。最終的には表彰審議会で決定していただく。



条例の一部改正

大下 修議員

◆階上町特別職の職員の給料等に関する条例の一部改正

問 町長、副町長、教育長の給料の引き上げ後の諸手当、共済費を含めた年間の総支給額

は、諸手当、共済費を含めて何%の引き上げになるのか。財源はどこから出されるのか。町民の所得又は町民の働いている方々の給与等は、何%引き上げられたのか、参考となる事例やエビデンスを伺いたい。また、それらの事例が回答できなければ、町民の所得が向上していると言える所見を伺いたい。

答 総務課長 総支給額は改正後において3686万9千円。支給引き上げは、手当のため%という考えではなく0.1月分引き上げになる。財源については一般財源からの支出となる。最後の事例については、特別職の報酬等の改正の事例というものがなく、また一般町民の事例と

問 青森県の賃金は、どれくらい上がったのか。

答 総務課長 県の調査結果としては3.25%、1万1219円の格差があることになっている。

6年度一般会計補正予算

百目木 和俊議員

◆赤保内小学校改修工事

問 改修工事の内訳は。

答 教育課長 令和7年度の1年生が38人となり、1学級35人が上限となっているため、2学級編制の見込みとなる。そのため、通常学級の数が増え、エアコンを設置している教室が不足することから、通常学級の教室には、エアコン設置、Wi-Fi設置、照明機器の修繕等を行い、特別支援学級の教室は、現在、簡易的に仕切っている間仕切りを天井までの間仕切りに変更し、片方にエアコンがない状態になるため、エアコンの設置を行う。

大下 修議員

◆人件費

問 人件費、給与諸手当退職

共済組合の変更の全体的な要因は。

答 総務課長 人事院勧告制度により給与が変わることにより、共済組合の掛け金の報酬基準額も変わるため、こちらも増額となり、全ての課で変更が生じている。今回の補正は、それぞれの所属課の陣容の変更、課職員の内容の変更も含めて、3月までの給料を再計算した結果に基づき変更とした。

◆議会食糧費

問 議会費の食糧費3万5千円の内訳は。

答 議会事務局 当初予定していたかった消防団第1分団の全国大会の報告会や全国朝市サミット交流会の案内等があった。年度末に向け、教職員



◆社会教育複合施設整備検討委員会報償金

問 今後3月までの開催回数
は。この会議での土地選定に
関わる議論の内容は。

答 教育課長 令和6年度は
6回の開催を予定している。候
補地は、基本構想の策定に当
たり、A案とB案を検討委員
会に諮り、費用や立地的等も
提示しながら協議いただいた結
果、A案となった。候補地の比
較は、アクセスの良さ、駐車場、
周辺施設との相互関係、敷地
状況及び法規制、概算事業費
を提示し、比較検討していただ
いた。

指定管理者の指定

大下 修議員

◆階上町農村活性化センター

問 3年間管理していただい
た成果は。指定管理料が55万
円増額となっており、新しい券
売機のリース契約と伺ったが、
リースする理由は。買えばい
くらになるのか。

答 産業振興課長 運営状況
は、来場者への観光情報の提
供、観光案内のほか、ホームペー

ジやSNSの発信により施設の
PRを積極的にを行い、集客に
努めていただいている。年間約
2万6千人が来場し、令和5
年度は約1200万円の売り上
げとなっている。また、地元産
食材を使ったジェラートの開発、
キャッシュレス決済導入など独
自性のある運営をしており、今
後も来場者の増加と階上町の
魅力発信につながる運営がされ
るものと評価している。リース
する理由は、故障しても、営
業は続けなければならず、素早
い機械の交換やメンテナンスで
きるという優位性のためにリー
スを考えた。もし、購入した
場合の金額は166万7千円
程度の券売機となる。



大下 修議員

◆金山沢水郷館

問 収蔵庫と集会所とその他
の運動場などの管理区分は。
行政区と教育委員会の管理区
分は。それぞれにかかる経費
の管理は。

答 教育課長 教育委員会の
管理部分は、建物の2階及び1
階の一部と物置小屋の収蔵庫
部分。地区の管理部分は、そ
れ以外の旧校舎の建物の部分、
体育館とその収蔵庫部分を除
いた物置小屋。指定管理料に
ついては、建物全体で地区で管
理している部分があるので、電
気、ガス、水道、電話の基本
料、浄化槽の契約額としている。
地区で管理している住民集会所
との整合性をとりながら指定管
理を検討している。グラウンド
の管理は地区で行っていただい
ている。指定管理料は、令和
5年度の実績で62万3364円
で、60万前後を支払っている。



条例の一部改正(議会案)

大下 修議員

◆階上町議会議員の期末手当
支給条例の一部を改正

問 期末手当を改正し、月額
報酬を改定するのであるのか、
報酬を改定するのであればい
くらになるのか。

答 議長 今回は議員報酬の
件は議題となっておりません。期
末手当についてです。

討論

討論があり、採決の結果、
賛成多数で可決。討論の内容
については、次のとおり。

○議案第5号

階上町特別職の職員の給料
等に関する条例の一部を改正す
る条例の制定について

反対

大下 修議員

物価上昇に伴い、中央の国
家公務員と同等に近い給料の
引き上げを行う条例だが、当
町の町民は物価高騰に疲弊して
いる。特別職は、若い職員と

違い、子育てを終えている世代。
物価上昇に賃金が追いつかず、
町民の暮らしが改善したのであ
れば理解できるが、地方にその
恩恵は届いていない。

○議会案第1号

階上町議会議員の期末手当
支給条例の一部を改正する条例
の制定について

反対

大下 修議員

町民の負託を受けた議員と
して、町民に寄り添うこと、結
果責任がある。我々議員は、
耐えてもらわないとならない世
代の方が1名いて心苦しいが、
議員のなり手不足も考慮し、
別途議員の賃金については議論
すべきと考える。物価上昇に賃
金が追いつかず、町民の暮らし
が改善したのであれば理解でき
るが、地方にその恩恵は届いて
いない。





中学生模擬議会 開会

令和7年1月23日に、中学生模擬議会を開催しました。

道仏中学校3年生13名)の生徒は、議会当日ま

でに、学校の社会の授業で、国会や議会のことを学び、冬休み中に質問を考え、当日に臨みました。

当日は、12名の生徒が、議員となり、質問席に登壇し、中学生の視点から、町の取組や議員活動につ

いて、真剣な表情で質問や提言を行いました。

また、葛木隼之介さんが議長を務め、議事進行しました。

普段は、質問者である議員が答弁者として座り、普段と違う議場の緊張感を感じながら、中学生議員の質問に答えました。

質問・答弁の内容は、一部を抜粋・要約し、質問順に掲載しています。

議長を務めて

氏名 葛木 隼之介

・議長を務めての感想は
貴重な場で議長を務めて進行するのは楽しかったです。議員の皆さんが町の事を思っていてくれるなと思うと、感謝しかありません。地元を思うことで、将来戻ってきて、地域活性化などできればいいなと思っています。

・階上町に望むことは

生徒会役員を務めて、町民の方と一緒に階上町を盛り上げる話し合いがあり、参加しました。町に勉強ができるカフェなどあれば、中高生がその場に集まり、さらに盛り上げられると思うし、そういう店舗などもっとたくさんできればいいと思います。



問 地震などの自然災害が他の県で発生した時、町ではどこかへお金を寄付しているか。しているとなれば、どのくらい寄付を出しているのか。

答 土橋美加佐 議員 令和4年8月豪雨災害で、北津軽郡中泊町は、浸水等で多くの住宅や道路等に被害を受けた。また、令和6年能登半島地震では、広範囲に津波が襲来したほか、家屋の倒壊などの甚大な被害をもたらした。これらの災害に対し、中泊町に町から150万円、能登地方へ県町村会という形で100万円、町職員互助会から10万円の見舞金を贈っている。町議会も能登半島地震に対し10万円の見舞金を贈っている。



荒道 翔梧 議員

問 少子高齢化が進んでいる世の中で、町内で少子高齢化に対してどのような対策を立てているか。

答 渡部高明 議員 町では、全ての高齢者が健やかで生きがいを持ち安心した生活を送れるよう、地域包括ケアシステムの推進のほか、介護を必要とする高齢者に対し、介護保険制度に基づくサービスの提供とともに、必要な施設整備等を推進し、高齢者福祉の充実を目指している。また、少子化対策として、学校給食費の無償化、0〜2歳児の保育料無償化、3〜5歳児の保育施設等の給食費の助成、高校生までの通院及び入院の自己負担分を助成する子ども医療費無償化などがある。



木下 心綺 議員

問 町では、森林伐採が去年見られたが、何のために伐採をしているのか。



中島孝一 議員

答 中島孝一 議員 地域森林計画の対象森林において、立木伐採の際は、市町村へ届出等を行うこととなっており、今年度、昨年4月からの町への届出件数は、38件である。伐採の理由としては、木材加工品用として売するため、木が伸びて隣地にはみ出しているため、国道脇で倒木の恐れがあり危険なためなどであるが、伐採後に、太陽光パネル設置のために利用する予定のものが11件確認できた。

問 町では、近頃不審者の目撃があった。町ではどのような防犯対策をしているのか。



長根 陽琥 議員

答 小坂正年 議員 町では、日頃から地域住民や防犯活動団体との連携の下に、地域ぐるみの防犯活動を展開しながら、防犯体制、暴力排除体制の充実、広報活動を通じた効果的な町民の防犯意識の高揚、学校、家庭、警察等と連携し、犯罪の予防の推進を図るとともに、関係機関・団体と協力した街頭指導等の実施、防犯指導隊員の人員確保に努め、地域防犯力の向上、防犯灯の維持管理の強化を推進した犯罪の予防などを行っている。

問 階上町をよりよい町にするために、議員はどのようなことを第一に考えているのか。



南上 堅星 議員

答 下沢育男 議員 町民の心を代表して代弁するだけの役割だけではなく、常に住民の中に飛び込み、対話を重ね、悩みと声を汲み取りながら議論を重ねて調査研究を進め、住民全体の福祉向上と地域社会の活力ある進展を目指して、その実現に積極的に努力することが大事であると考える。そして、町の豊かな自然や美しい景観、先人達が築き上げてきた歴史や文化など、これらの恩恵を、より発展させながら次世代に引き継いでいかなければならないと考えている。

問 道仏中学校では、交通安全教室を行っているが、町ではどのような交通安全対策をしているのか。



熊谷道雄 議員

答 熊谷道雄 議員 町では、交通安全施設（カーブミラー等）の新設をはじめ、歩道の改良、交通指導隊や防犯指導隊の協力により、登下校時の児童生徒などへの交通指導や通学路パトロール、また、高齢者や幼児・児童を対象とした交通安全教室の開催、街頭啓発活動等を通じた、交通安全意識の高揚に努めている。平成29年4月から、高齢運転者による交通事故の抑制を目的とし、高齢者運転免許証自主返納支援事業制度を実施し、コミュニティバスの回数券を交付している。



問 ポケモンは国内外で人気があり、観光資源としても活用できると思っています。道の駅に1個あるが、町の地域活性化を目的に、ポケモンのデザインを使用したマンホールの設置を提案する。



小松雅彦 議員

答 小松雅彦 議員 ポケふたは、ポケモンと各地域の魅力を知ってもらうことを目的に、オリジナルデザインされ、マンホール設置後30〜40年交換の必要がない。県内では、八戸市と町に設置されている。ポケモンマンホールについては、各自自治体からの反響も多く、当面の製造予定数を大幅に上回る問い合わせのため、2019年12月に新規設置希望の受付が一旦停止になっている。

問 道仏中学校では、障がいのある人へ向けてスロープや車いす、段差をなくすなどのバリアフリーが充実している環境だが、町は、障がいのある人へ向けてどのような配慮を行っているか。

答 上道三三男 議員 町では、役場やハートフルプラザ・はしかみなどの公共施設に、障がいのある方が、安心安全に利用できるように、スロープの設置や車いすを配置したり、駐車場には思いやりの駐車スペースを設けるなどしている。令和8年度の国民スポーツ大会に向け、バリアフリー化の推進やユニバーサルデザイン化(自動ドア、センサー蛇口等)への取組も行っている。



太田 珠愛 議員

問 町での移動手段の多くが自動車だが、コミュニティバスを利用すると、どこまで行くことができるのか。

答 百目木和俊 議員 コミュニティバスのコースは、ハートフルプラザ・はしかみを発着点として4系統ある。道仏、大蛇、小舟渡の方は、東部線を利用し、ハートフルプラザで蒼前線に乗り換えると、道の駅はしかみや石鉢ふれあい交流館等へ行くことができる。金山沢線に乗り換えると、金山沢方面に行くことができ、田代線に乗り換えるとフォレストピア階上やわっせ交流センター等へ行くことができる。



中嶋 心 議員

問 町議員の主な仕事内容と町民からの要望にどのように対処しているのか。

答 林真 議員 議会の主な仕事は、町の条例を定めたり改正すること、町の予算を決定し、決算を認定すること、町の税金、使用料などを定めること、重要な契約の締結や財産の取得又は処分を同意すること、副町長、教育長などの選任に同意することである。町民や団体等から提出された請願・陳情の受理・審査し、必要と認めるものについては、採択し、必要に応じて町長等に送り、国や県等の関係機関に意見書の提出、社会問題等について議会の意思を明らかにするため決議を行う。



北城 莉央 議員

問 家族に高齢者、障がい者がいるが、そのような人に向けた取組は何かあるか。

答 大江和夫 議員 町社会福祉協議会等へ委託し、65歳以上を対象に、毎週月曜日と木曜日に、入浴サービスや舞踊教室、カラオケなど各種趣味活動を通して生きがいと健康づくりを進めている。ハート生き活き事業、介護予防と仲間づくりを推進している。ほのぼの交流会開催事業等がある。障がいのある方が受けることができる福祉サービスは、自宅で利用できる訪問系サービスや施設を利用する日中活動系サービスなど、多くのサービスがある。



長根 明凜 議員

問 町では、どのような公害対策をしているか。

答 大下修 議員 町では、町民の主体的な取組により、環境保全・美化の促進を図るとともに、町民参加による環境衛生対策の展開を目的としている。し尿処理については、公共下水道処理区域と大蛇地区漁業集落排水処理区域内では、加入促進に努め、それ以外の区域では合併処理浄化槽への転換促進に努める必要がある。騒音・悪臭等については、原因者や事業者に対し、適切な指導や防止対策等を講じ、安心できる生活環境を維持できるように、地域の環境整備に努めていくことが大切であると考えている。



畑中 烈心 議員



議会活動

11月

- 2日 第46回町民文化祭オープニング
- 2日 町文化賞・スポーツ賞表彰式
- 5日 知事を囲む行政懇談会並びに意見交換会
- 6日 町商工業者における現状と課題についての報交換会
- 12日 県選出国會議員との懇談会
- 13日 町村議会議長全国大会
- 16日 道仏小学校創立150周年記念式典並びに祝賀会
- 21日 八戸地域幼年消防クラブ連絡協議会設立40周年記念祝賀会
- 22日 第46回町社会福祉大会
- 24日 町消防団第1分団全国消防操法大会出場報告会
- 26日 議会運営委員会

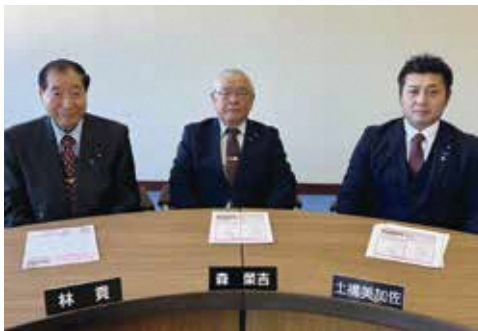
12月

- 3日 第6回定例会本会議
- 3日 議員全員協議会
- 5日 第6回定例会本会議

- 6日 第6回定例会本会議
- 13日 八戸地域広域市町村圏事務組合議員協議会
- 13日 見心園福祉懇談会
- 17日 町表彰審議会
- 19日 町総合振興計画審議会
- 23日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会定例会
- 27日 議会だより編集委員会

1月

- 6日 町町民栄誉賞表彰条例及び町表彰条列表彰授与式
- 6日 新年互例会
- 10日 議会だより編集委員会
- 12日 町消防団出初式
- 12日 町成人式
- 15日 中学生模擬議会に係る打合会
- 15日 連携中枢都市圏の形成に関する講演会
- 21日 議会運営委員会
- 21日 議員全員協議会
- 21日 第1回臨時会
- 21日 中学生模擬議会に係る打合会
- 23日 中学生模擬議会
- 24日 議会だより編集委員会



議会だより編集委員会
 ◇今月号の編集委員(3人)
 ・土橋美加佐 議員(教育民生)
 ・森 榮吉 議員(総務財政)
 ・林 貢 議員(産業建設)

議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	会費	11月16日	道仏小学校創立150周年記念式典並びに記念祝賀会	5,000円
2	会費	11月24日	町消防団第1分団全国消防操法大会出場報告会	8,000円
3	会費	12月13日	見心園福祉懇談会	5,000円

編集後記

階上町議会は開かれた議会を目指し、その一つとして今回、中学生模擬議会を行いました。子供達が思っている事等、様々な質問がありました。未来を担う子供達。将来、議員を目指す子がいるのかと思うと大変頼もしいと思います。明るい階上町になってくれることを願っています。

(林・森・土橋)

議会傍聴者数 (述べ人数)

- 第6回定例会 (令和6年12月)
12月3日(4人)
12月5日(13人)
12月6日(5人)
- 第1回臨時会 (令和7年1月)
1月21日(2人)

議会を傍聴しませんか



議会の傍聴は、受付票に住所・氏名等を記載し、受付箱に投函するだけでどなたでも傍聴できます。

発行/青森県階上町議会 〒039-1201 青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平1-87 年4回発行 令和7年2月10日発行
 編集/議会だより編集委員会 ☎0178-88-2369(直通) FAX 0178-88-2117 URL <https://www.town.hashikami.lg.jp>

はしかみ議会だよりは4,500部作成し、印刷経費は88.8円/部です。